

2. 避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者とは、年齢や障がい、言葉の違い等、災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている方のことです。地域で協力し合いながら、災害時の情報提供や安否確認、避難誘導など必要に応じた支援をしましょう。

■高齢者・病人



- おぶって安全な場所まで避難する
- リヤカーなどがあれば搬送に活用する
- 複数の介助者で対応する

■目の不自由な方



- 声をかけ情報を伝える
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く

■肢体の不自由な方



- 階段では2人以上が必要。上がりは前向き、下りは後ろ向きにして移動する
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する

■耳の不自由な方



- 話すときは、口をはっきりと開け、相手にわかりやすいようにする
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える

MEMO